

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

事業名 教育訓練用資機材整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防学校 管理調整係 電話番号：0586-89-3226

E-mail：c21201@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,818 千円 (前年度予算額：4,933 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,933	0	0	0	0	0	0	0	4,933
要求額	3,818	0	0	0	0	0	0	0	3,818
決定額	3,818	0	0	0	0	0	0	0	3,818

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

消防学校で使用している教育訓練用備品等で痛みが目立つもの、部品保証期間の経過によってメンテナンスが困難となったもので、教育に支障を及ぼす訓練用資機材を更新する。

(2) 事業内容

・ 消防ホース 20 本	： 721 千円
・ タンク車用吸管 1 本	： 137 千円
・ 空気ボンベ 3 本	： 449 千円
・ 自給式呼吸保護具 5 式	： 1,491 千円
・ 三連梯子 1 梯	： 497 千円
・ 訓練用人形 1 体	： 193 千円
・ 訓練用安全マット	： 330 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

消防組織法に基づき、県負担で整備

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	721	消耗品費 (ホース 721)
その他	3,097	備品購入費 (タンク車用吸管 137、空気ボンベ 449、自給式呼吸保護具 1,491、三連はしご 497、訓練用人形 193、安全マット 330)
合計	3,818	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
備品等を計画的に更新して、教育訓練に支障がない状態を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

物品にはそれぞれに寿命があることから、定期的な入れ替えが必要である。
教育訓練に支障を与えないことが重要であって、達成率で示すことができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
故障した備品のうち、修理可能なものは修繕を行い、修繕が困難なものについては、入れ替えを行った。

- ・消防ホース30本（消耗品費）
- ・タンク車用吸管2本（備品購入費）
- ・空気ボンベ5本（備品購入費）
- ・自給式呼吸保護具5式（備品購入費）
- ・三連はしご1梯（備品購入費）
- ・訓練用人形1体（備品購入費）
- ・訓練用安全マット2個（備品購入費）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
消防ホースの更新により、訓練中に損傷する穴あきホース使用の減が図れたが、訓練で酷使するホースの消耗度が高く、毎年の更新が必要である。
空気ボンベ、自給式呼吸保護具等の計画的な更新、増強を行った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	訓練に支障のないよう必要十分な訓練資機材を整備する必要がある、教育訓練が滞ることがあってはならない。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	資機材整備によって教育訓練の質や効率性が維持されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	毎年交換を必要とするものや、耐用年数を迎えているものを優先的に交換している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 備品の経年劣化、訓練で多用する物品の消耗度の激しさ、教育訓練の高度化に対応した教育訓練資機材の確保と維持。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 教育訓練に支障を及ぼす物品の管理については、計画的に更新整備を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	